

SCB 海外 Special Report

「エシカル消費」をキーワードとした 海外販路開拓



信金中央金庫 海外業務推進部

SHINKIN CENTRAL BANK
International Business Division

2023年11月16日発行

持続可能な社会を目指すために、「エシカル」、「エシカル消費」の関心が世界中で高まっています。日本でも、消費者庁が「エシカル消費」の普及・啓発を推進するため、特設サイトを開設し、広く情報提供を行っているほか、多くの自治体で、大学・企業・地域と連携しながら、色々な取組みがされています。身近な企業においても、セブンイレブンでは、消費期限が近い食品に、“エシカルプロジェクト”と書かれた緑色のシールが貼られているものがあり、電子マネーである nanaco を用いてその食品を購入すると、5%のポイント付与を受けられる取組みが行われています。また、海外に目を向けてみると、特に欧州では、「エシカル消費」の概念が浸透しており、こうした国をターゲットとして、海外展開を進めていくには「エシカル消費」を理解することが必要であると考えられます。

本稿では、「エシカル消費」の概念や海外における浸透状況についてご紹介します。

こちらは信用金庫とそのお取引先向けとさせていただきます。

1. 「エシカル消費」とは、**ご覧になりたい場合は、お近くの信用金庫（検索は[こちら](#)）までご相談ください。**

「エシカル消費」とは、消費者庁において「地域の活性化や雇用なども含む、人や社会、環境に配慮した消費行動」と定義し、持続可能な開発目標（SDGs）の17のゴールのうち、特にゴール12の「つくる責任 つかう責任」に関連します。「エシカル消費」に寄与する具体的な商品については、環境に配慮したものとして「エコ商品・リサイクル製品・資源保護等に関する認証がある商品」、社会に配慮したものとして「フェアトレード商品・寄付付きの商品」などが一例です。（表1参照）

以上を踏まえ、「エシカル消費」の定義をもう少し具体的に解釈すると、消費を行う際に、その行動が社会的課題の解決や課題解決に取り組む事業者の支援に結び付くか考慮して行動することと読み取ることができます。